

いいだ型自然保育の推進について

— 公立保育園全園での「信州やまほいく認定」取得を足掛かりに —

1 いいだ型保育の特徴

(1) 保育園で取り組んできている自然体験・地域との関わり

市内各保育園には、以前から地域密着型の自然体験・食農体験に取り組んできた歴史がある。畑で野菜作り、田んぼで米作り、地域の果物狩り体験、伝統文化の伝承、餅つき・五平餅作り体験、散歩(地域めぐり・四季の散策・小動物との出会い・自然物拾い・自然物での制作)、山遊び、探検等々・・・

(2) 地域にとって子どもは宝

それぞれの地域では、“地域の子どもは地域で育てる”“子どもは地域の宝”という意識が高く、様々な年中行事や地域活動に園児を体験させる風土がある。

(3) 体験を通して育ってきた力

～これまでの保育実践研究の評価から～

- ・ 自然に対し興味関心が高くなった(自然への知識が増えた・工夫して遊ぶ力がついた)自然の中での遊びは自分に合ったペースで遊べるためリラックスでき、表現が豊かになった。
- ・ お世話になった地域の皆さんに感謝の気持ちと親しみがわき、自分の育った地域を好きになる。
- ・ 色々な場所をしっかりと歩く事で、足腰をはじめ、身体が丈夫になった。
- ・ 食べることへの関心が高まり、食べることに感謝の気持ちが持てるようになった。

～親子山遊びの翌日の「連絡帳」から～

- ・ なんだかとても懐かしさも感じて、そこで子どもと楽しめて良かったです。〇〇は少し歩くとすぐ近くに素敵な大自然があり、とても有難い事です。先生方が自然の中での危ない草や、名前など色々教えてくれ、自然の中で自分の体を使って学べる事、大切だなと思いました。自然の中で遊べるよう環境を整えて下さり、子ども心になって遊べて良い経験になりました。木の蔓を使って上手に登っていったり、急な所を怖がりもせず楽しんで滑る姿に、子ども達みんなが楽しんでいる様子がわかり、とても嬉しかったです。

～平成 28 年度長野県保育研究大会にて 「保育所ですすめる食育」に対する講評から～

- ・ 子どもの発育に沿った食育が自然に行われています。地域社会と連携した食農保育を、定期的に会議を持ち、保育士が保護者や地域と一体となり取り組む様子が、愛情細やかに伺われました。
(この龍江保育園事例は、平成 29 年度の関東ブロック保育研究大会でも発表された。)



【飯田版！上質な子育て環境づくり】へ向けて

- 自然体験・地域との関わりを大切にする保育は、どこでもできるものではない。
- 地域に密着した保育園として自然保育・食農保育を積極的に展開し、いいだ型保育・幼児教育の魅力のブランド化を図る。

2 信州やまほいく認定制度（長野県／平成27年度開始）

日本は他国より突出して自己肯定感が低い。小→中→高と年齢が上がるにつれて大きく低下。一方、自然体験・生活体験が豊富な青少年ほど、自己肯定感が高い傾向が見られる。

⇒子どもの自己肯定感を高めるためには、自然体験や生活体験が大切

- ・ 自然体験とは、自然環境の中で自然の素材や要素を活用して行う各種活動
- ・ 生活体験とは、生活力や生きる力の習得のために行う各種活動

⇒恵まれた自然環境を、保育や幼児教育に活かしていくことで、幼児期から感性を磨き、コミュニケーション力や自己肯定感を高める本物の体験を増やしていくことが必要。



信州やまほいく認定制度を通じて自然保育の社会的認知や信頼性と質の向上を図り、県内の保育や幼児教育に携わる者が積極的に自然保育に取り組み、保護者が安心して子どもを託すことができる自然保育環境の充実を目指す。

(1) 主な認定基準

【申請できる団体】 認可保育所、認可幼稚園、認定こども園、野外保育団体含む認可外保育施設等

- ・ 屋外での子どもの自然体験活動が、毎月計画的に実施されている。
- ・ 屋外での子どもの自然体験活動に使用できる場所が園庭以外にあり、優先的に使用できる。
- ・ 自然体験活動に関する外部の研修等に参加した常勤保育士がいる。
- ・ 対外的に自然体験活動に関する事例発表等を行った常勤保育士がいる。
- ・ 屋外での体験活動時には、安全管理に十分配慮した保育者の配置体制をとっている。

【普及型】 ・1週間で合計5時間以上、屋外を中心とした体験活動が行われている。

【特化型】 ・1週間で合計15時間以上、屋外を中心とした体験活動が行われている。など。

(2) 公立全園での認定取得によって期待される効果

- ・ 自然体験を重視した保育を実践するまちとしての、公的な認証による後ろ盾を持つ。
- ・ 長野県自然保育ポータルサイト「信州やまほいくの郷」に、認定園の活動内容が掲載される。）
- ・ 豊かな自然と地域に育まれて子育てをしたい家庭への、移住・定住の動機づけ
- ・ いいだ型自然保育を実践したい（飯田で働きたい）保育労働者への流入・定住の動機づけ
- ・ 幼児期からの環境教育、自然・地域・食などを大切にする消費者教育の側面としての効果

3 信州やまほいく認定取得と今後の取組

(1) 公立保育園16園（全園）で認定申請中（8月）。（併せて民間保育園のうち2園でも申請）

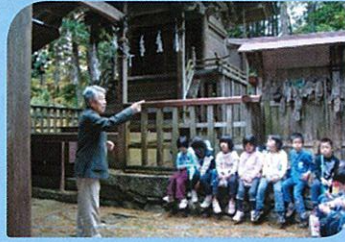
⇒ 認定結果は10～11月頃の見込み

(2) いいだ型自然保育パンフレット（県内初。別紙資料）を作成し、市ホームページ掲載ほか、ふるさと定住支援・結いターン促進窓口等との連携によって、子育て移住の動機づけに活用。

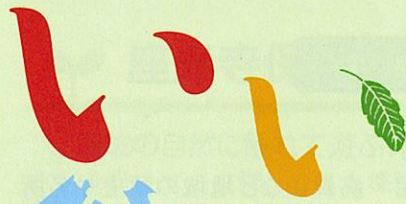
(3) 県内外の保育士養成学校へ「いいだ型自然保育」の魅力発信を行い、飯田で働きたい人の拡大を目指す。

(4) 各園の特徴的な取組を園長会などで情報交換しあい、互いの良さや工夫を取り入れながら、他の民間保育園・認定こども園も視野に入れた全市的展開を目指す。

(5) ふるさとへの愛着を育み、志を持って“田舎へ還ろう”と思える保育を推進する。



結のまち



いだ型

自然保育



- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 丸山保育園 | 座光寺保育園 | 松尾東保育園 | 下久堅保育園 |
| 上久堅保育園 | 龍江保育園 | 亀丘保育園 | 川路保育園 |
| 三穂保育園 | 山本保育園 | 中村保育園 | 殿岡保育園 |
| 鼎みつば保育園 | 上郷西保育園 | 上村保育園 | 和田保育園 |



飯田市は長野県の最南端に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、南北に天竜川が貫き、豊かな自然と優れた景観、四季の変化に富み、気候風土に恵まれています。また「りんご並木と人形劇のまち」「環境文化都市」としても知られています。市町村合併を経て20の地域自治区が『ムトスの精神(・・・んとす・・・しようとする)』を合言葉に、「愛する地域を想い、自分ができることからやってみようとする」自発的な意思や意欲、具体的な行動による地域づくりを目指しています。

その中で、飯田市公立保育園では「飯田」の地名の語源と言われる『結いの田(結)』の心を大事にし、山・里・街の豊かな自然に根付いた暮らしと多様な地域資源や文化を懐として、各地域に立脚しながら保育を進めてきています。また、“地域の子どもは、地域で守り育てる”という強い自治意識と連帯感に裏打ちされて、各保育園では設立当時から地域密着型の自然体験・食農体験・地域行事への参加、文化・伝承など地域と保育園の歴史を積み重ねてきました。こうして、保育園が地域に開かれていることで相乗効果を上げ、地域の子育て文化やまちづくりの一翼を担っています。

山・川・空・森などの自然だけでなく、地域社会の在り様や生活文化をまるごと受けとめ、野外を中心とする様々な“命に触れる体験”を積極的に展開していきます。

その中で子どもがわくわくするような体験ができ、感性を磨き自己肯定感を持ち、生きる力の基礎が培えるように、保護者・地域の方々と共に、乳幼児期の保育の質と環境の充実に向けて積極的に取り組んでいきます。

今なぜ自然保育なのか

近年、少子化・核家族化・共働き世帯の増加などによる家庭環境の変化、携帯電話・インターネットなどによる情報の普及、子どもの遊び場・遊び相手の減少などによる遊び空間の減少、交通機関が発達し歩く機会の減少など、子どもを取り巻く環境が大きく変化し子どもの心や体に大きな影響が出てきています。

その中で、全身を使って直接自然と触れ合う体験は、様々な事象について興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを育み、自己肯定感を高めていくことができます。

飯田市には豊かな自然が今もなお大切に守られ、互助や共助の精神が深く息づいています。心と体を共に育むことのできる飯田市の肥沃な土壌で子どもの“根っこ”・逞しい心と身体を育てていきたいと思ひます。

長野県信州
やまほいく
(信州型自然保育)

いいだ型自然保育



飯田市の目指すまちの姿

リニアがもたらす大交流時代に
「くらし豊かなまち」をデザインする
～合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台～

未来ビジョン

- 私らしい暮らしのスタイルを楽しむまち
- 人と人がつながり、安全安心に暮らせるまち
- 健やかにいきいきと暮らせるまち
- 学びあいにより生きる力と文化を育むまち
- 地域の応援で子育ての幸せが実感できるまち
- 人と自然が共生する環境のまち
- 持続的で力強く自立するまち
- 地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝くまち

教育ビジョン

地育力による未来をひらく心豊かな人づくり

- 取り組みの柱**
- ・ 発達・成長の土台をつくる
 - ・ グローバル時代を生きる力を育む
 - ・ ふるさと飯田への愛着を育む
 - ・ 豊かな心を育てる
 - ・ 学びの環境を保障する
 - ・ 地域ぐるみで子どもを育てる
 - ・ 生涯学び続けられる環境をつくる
 - ・ 地域づくりの担い手を育む
 - ・ 文化力を高め心豊かな市民生活を実現する
 - ・ スポーツにより人と地域が輝く社会(まち)づくりを進める
 - ・ 「伊那谷の自然と文化」の学究・普及・継承・活用を推進する
 - ・ 教育関連施設のマネジメントを進める

保育所保育指針

質の高い保育の目標

現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う

- 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満ち、生命の保持及び情緒の安定を図る
- 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う
- 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主・自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う
- 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う
- 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養う
- 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う

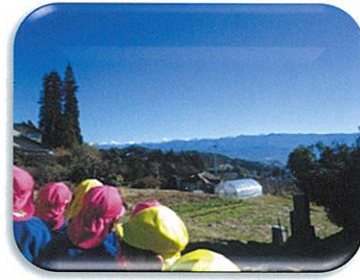
丸山保育園 地域を歩き、自然や文化に触れ、たくましく情緒豊かな子どもに!

○飯田のシンボル風越山の麓は自然の宝庫。その中で心身たくましく情緒豊かに育ちます。

- ・ 風越山(かごこしやま)の麓を歩けば雄大な南アルプスが眺められ、鮮やかな晩秋の山、澄んだ空気にくっきり聳える冬の雪山、子どもの森公園や滝ノ沢等、四季の移り変わりを感じることができます。
- ・ 年長になると地域の案内人さんと一緒に虚空蔵山(こくぞうざん)に登ります。全員完歩を目指して体力づくり、地域の神社で安全祈願も!

○街を歩き地域の文化や人々と触れあい、知識と経験豊かな子どもに育ちます。

- ・ 人形劇のまちの子どものとしてウェルカム人形展への参加・地域文化祭での人形劇の上演・人形劇の観劇等、飯田の文化に触れて楽しめます。
- ・ 美術博物館・動物園・市民プール・商店への招待などを通して、街歩きを楽しみながら知識や経験も豊かになっていきます。



座光寺保育園 実体験を通して感性を磨きます。

○地域の自然に触れて遊ぶ体験

- ・ ビオトープで虫探しや昆虫採り・草花摘み・里芋の収穫体験をしています。保育園の近くの“遊びの森”で、1歳から5歳までの子ども達が、かくれんぼなど、自然環境を活かしながら群れて遊びます。

○地域と連携した食育体験

- ・ 地域の果樹園で梅採り・桃狩り・リンゴ狩り体験ができます。また、晩秋の特産物の干し柿暖簾も子どもたちの関心事の一つです。



○野菜づくりを通して、感謝の気持ちや食べる意欲が育ちます。

- ・ 野菜づくりや食育活動を通して、食べ物の大切さや感謝の気持ちを持ち、美味しく食べる経験ができています。

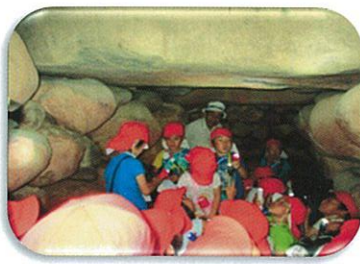
松尾東保育園 実体験の中での好奇心や探究心…地域を愛する心が育ちます!!

○身近な自然は子どもたちの遊び場。1歳のお友だちから5歳のお友だち、みんな仲良しです。

- ・ 園庭は子どもの興味に合わせて自由に変化できる遊び場となり、異年齢の自然な関わりを多く見ることができます。散歩で拾ってきた木の実等の自然物も子どもたちの遊び心が膨らみます。

○田んぼ、畑の活動を通し、感謝の気持ちと食べる意欲を育てます。

- ・ 野菜づくりを通して、生長や収穫の喜びを感じ、食べる意欲に繋がっています。
- ・ お米づくり・凍み大根づくり等、地域の方々から食文化や生活の知恵を教わります。



○生まれ育った地域を知り、大切にできる心を育てます。

- ・ 『歩歩歩の会』と称し、地域の方々の案内で、史跡めぐりをし、地域のことを学び、知らなかったことを知るきっかけになっています。

下久堅保育園 豊かな自然に恵まれ、城跡に建つ保育園!野山を駆け回り、伸び伸びと育ちます。

○地域の歴史を知り、自然の中で夢中に遊びます。

- ・ 歴史的名残のある知久平の城跡に建つ保育園。周囲も城の名残の地名が多く、散歩等で地域の歴史を知ることができます。毎年、年長児によって伝えられてきた「コロコロ坂」「山姥神社」などユニークな名前の場所があり、それぞれの場所でイメージした遊びが広がっていきます。

○野山を元気いっぱい歩き回り、強い心と身体を作ります。

- ・ 起伏に富んだ地形で、どこに行くにも急な坂道を上ったり下ったりして歩きます。坂道をたくさん歩くことで丈夫な心と身体づくりができています。



○地域の方と一緒に食農体験をします!

- ・ JA・シニアクラブの皆さんと一緒に米づくりや野菜づくりを行います。生長や収穫等、野菜づくりを通して食の大切さを学びます。

上久堅保育園 豊かな自然 十三(とさ)の里っ子 大きくな~れ!

○豊かな自然を通して「丈夫な心と体」が育ちます。

- ・ 園の隣にある「里山」で、傾斜面を歩いたり山の中を散策しながら足腰が丈夫になります。木や枝を使って遊び、想像・創造する力が育れます。みんな自然あふれる上久堅が大好き!

○地域の方々と一緒に、いろいろな食農体験をします。

- ・ 田んぼ活動で田植え・稲刈り・脱穀を経験し収穫の喜びを味わいます。
- ・ 収穫祭に地域の方を招待し、食の大切さや感謝する気持ちを育みます。
- ・ 梨狩り・パプリカ狩り・栗拾い等楽しい経験がたくさんできます。

○異年齢の中で自分の居場所を確認し、一人ひとりが育ちます。

- ・ 年長さんが小さい人に教えたり、一緒に遊んでくれます。年長さんの自覚が芽生え、小さい人は大きい人の真似をして学んでいきます。みんな家族のように仲良くいっぱい遊び、豊かな心が育ちます。



龍江保育園 飯田を一望する天空の保育園 四季を五感で体験!

○恵まれた自然の中で歴史や文化を学び、ふるさとを愛する子どもたちに成長します。

- ・ 天龍峡の桜の花見から保育園の1年が始まり、龍江かるたは沢山の神社仏閣・今田人形館・高森山など地域の歴史や名所を知ることができます。また、実際にその場所を巡りながら地域を知り自然探索や木の実等の自然物などでのあそびを楽しみます。

○食農体験を通し、食べ物への興味や関心・食べることへの意欲が育ちます。

- ・ 地域育成部の方と野菜づくりをします。(玉ねぎ・じゃが芋・さつまいも・大根等)
- ・ JA女性部の方に郷土食を教わります。(五平餅づくり・餅花づくり・お餅つき等)
- ・ お世話になった方々を招待して感謝祭をします。

○地域の方々との触れ合いにより、思いやりのある豊かな心が育ちます。

- ・ 果樹園からの招待によりたくさんの果物を味わう経験ができます。(いちご・さくらんぼ・ブルーベリー・巨峰・シャインマスカット等)



竜丘保育園 地域の方々や保護者と一緒に食農体験ができる保育園。

○田んぼ活動を通して、“食”への関心が高まり、意欲的に生活できる子どもに育ちます。

- ・ 初まき・田植え・稲刈り・脱穀を親子で体験し、採れたお米で収穫祭やおもちつきをして、お米一粒の大切さや働く大変さを肌で学び、もりもり食べられる子どもに育っています。
- ・ 田んぼでの泥んこ遊びを行い、田んぼの生き物講座も毎年継続しています。

○地域の自然に触れる多様な体験を通して、豊かな心が育ちます。

- ・ 園周辺の自然散策。カブト獲り・川遊び・万寿山での遊び・古墳めぐり等、様々な体験ができます。地域を知ったり生き物への関心が深まります。

○地域の方々との触れ合いの中で、豊かな体験をし、感謝の気持ちが育ちます。

- ・ 地域の方々とさつま芋を育てたり、干柿づくりやおやすづくり等を行います。特産物や伝統行事等を教えてもらうことで、地域を知ることができ、人や物事への感謝の気持ちが育ちます。



川路保育園 地域と自然の愛の中で育まれる 豊かな心と丈夫な体!

○豊かな自然の中で五感を十分に働かせ、様々な経験を積むことで豊かな心身を育みます。

- ・ 園周辺の自然の中を探索し、生き物に触れながら命の大切さを感じています。
- ・ 山道を歩く事で体力が付き、丈夫な身体づくりができています。

○地域の方々とのふれあいの中で、豊かな体験ができています。

- ・ 地域育成部・JA 営農部・JA 川路・JA 竜丘等の方々との協力の中、田んぼや畑活動が体験できています。地域の方々に見守られ助けられていることへの感謝の思いも育ちます。
- ・ ハートビル川路・デイサービスとの交流により多様な体験ができます。

○食育を大切に、豊かな心身を育みます。

- ・ 食育の日の活動や昼食時のバイキングを通して、食べる意欲が増し、食の大切さを知ることができています。



三穂保育園 豊かな自然と伝統文化の里…「子どもは地域の宝」

○三穂の豊かな自然の中で友達と元気いっぱい遊びます。

- ・園の近くの君崎公園は子どもたちが喜んで遊び、地域の方々が集う憩いの場。伝説の残る“夜明かし山”や“菊の原”を探検し、田んぼや小川ではおたまじゃくしやサワガニ捕り等を楽しみます。
- ・起伏に富んだ三穂の自然は子ども達の身体を育て、四季折々の遊びができます。

○地域に根付いている食文化を体験し、受け継いでいきます。

- ・野菜や米づくりをしています。地域の方々から収穫した大豆を使って豆腐や味噌づくりを教えてください。手づくりの味噌や豆腐の味や香りは絶品!
- ・散歩での、晩秋の特産物の干し柿“柿すだれ”も子どもたちの目を惹きます。

○地域の方々に見守られ大切に育てられています。

- ・お花まつり、りんご狩り、七五三参り、おやすづくり、味噌・豆腐づくり、米づくり等、貴重な体験ができ地域の方々大切に育てられています。



山本保育園 自然の中で大きく育つ! ~見て!触れて!感じて!~

○地域の名所が子どもたちの大好きなあそび場になっています。

- ・杵原学校、七久里神社、へび塚などの身近な名所へ出かけ、地域を知ります。名所が大好きなあそび場となり、楽しい思い出づくりができています。

○地域の人の中で育ちます。

- ・地域の方々から伝統のまゆ玉・柿玉・もち花・おやすづくり等を教えてもらったり、竹の子狩り・ぶどう狩り・りんごの収穫等、貴重な体験ができ、山本地区の子として大切に育ててもらっています。

○食育の日や野菜づくりを通して、食への関心が深まります。

- ・地域の方々から野菜の作り方を教えてもらい、野菜の生長を楽しみ、収穫の喜びを感じています。また、食育の日を通して食への関心が深まります。



中村保育園 様々な自然体験をたくさんしています。“ワクワク・ドキドキ・元気な子”

○友だちと関わり、自然の中で思い切り遊んでいます。

- ・中村神社、奥位神社、長清寺、おひさま公園、二つ山など身近にある遊び場で様々なあそびを体験し、友達と遊ぶ楽しさやわくわくドキドキ感を味わったりします。異年齢のお友達と遊ぶ機会も多くあります。

○地域の方と一緒に畑づくりをします。

- ・子どもが作りたい野菜をJA 青年部の方に教わりながらスイカ・枝豆・ジャガイモ・サツマイモ・ポップコーンなど作ります。世話をしながら生長を楽しみに待ったり、収穫の喜びを味わいます。

○物知り探検隊で地域のことを教わります。

- ・地域の物知り先生に案内してもらって、昔からこの地で大切にしてきた史跡や伝説等を教わり、住んでいる所に興味を持つきっかけになっています。



殿岡保育園 う〜んと 遊ぼっ! う〜んと 食べよっ!!

○地域の方々との交流を通して感謝の気持ちが育まれています。

- ・お花祭(圓通寺)・梨狩り・高齢者クラブ交流(おやすづくり・餅つき)など地域の方々のご厚意により様々な体験ができています。感謝の気持ちを忘れない子どもたちに育ちます。

○食農体験を通して食への興味や関心を育みます。

- ・近所のおじいちゃんと一緒に、もち米づくりやさつま芋づくりをします。
- ・JA青年部の方々のお借りしての地域4園の保育園合同さつま芋づくり食農体験を通して、食べ物の大切さを知り食べることへの意欲が育まれます。

○自然の中で、楽しく遊びます。

- ・3つの神社があり、散歩に出かけてはその境内にある自然に触れて遊んだり、なぎすべりなど自然の中で元気に遊んでいます。



鼎みつば保育園 自然や地域は魅力がいっぱい! 発見・驚き・感動!

○保育園の周りの身近な自然で四季の移り変わりを感じています。

- ・園庭の桜、紅葉、イチヨウ、どんぐりの木は四季折々の姿の情景を伝えてくれて、その時々木の葉等、自然物を使った様々な遊びが楽しめます。園庭の築山上り・泥んこ・かけっこなど戸外遊びを楽しみます。近くの畑や田んぼ、果樹園を巡る散歩も楽しみです。

○野菜の収穫・草花遊び・昆虫との触れ合いなど、体験を通して学びます。

- ・新興住宅地の子どもの数が多いですが、園の野菜づくりを通し、生長の変化や特徴等を知ることができ、毎日たくさんの発見があります。川からの水汲みも貴重な体験です。クローバーで冠を作ったり、虫取りも楽しめます。

○地域の方と一緒に米づくりをします。

- ・地域の方に教えてもらいながら田植えから稲刈りまでの米づくりの体験をします。作ったお米を食べ喜びを味わい、地域の方々へ感謝をします。



上郷西保育園 野底山の懐に抱かれて…虫も草花も川も、みんな仲間だよ!

○心動く経験を通して、お友だちと育ち合います。

- ・園庭で幼虫がアゲハに羽化し、保育室でイモリやカメの飼育。“さわんだ”の森ではドキドキの体験。豊かな自然の中で仲間と共に『おもしろさ』を探し続けています。

○地域の方々の温かさに触れて優しさが育ちます。

- ・子どもたちのためなら…と温かい眼差しで見守ってくださる地域の方々に畑仕事を教えていただいたり、餅花づくりを体験させていただき、その優しさの中で、安心して保育園生活を送っています。

○季節の移り変わりを感じながら、豊かな体験をします。

- ・春はよもぎを摘んで団子づくり・夏はみんなで力を合わせて大きなプールづくり・秋には野底の森でネイチャーゲームあそび等々、その時々季節を感じながら、夢中になって遊んでいます。



上村保育園 豊かな自然の中で元気に育ち、文化を受け継いでいきます!

○豊かな生活体験を地域から学びます。

- ・地域のお年寄りの方々を中心に、わら細工、松送りなどの伝統行事を子どもたちに優しく教えてください。畑づくりや野菜の育て方、伝統食の蕎麦打ち体験も地域の方が先生になって指導してくれます。

○伝統文化に親しみ、豊かな情操を養います。

- ・歴史ある重要無形民俗文化財「湯立神楽・霜月祭り」が現在も伝承されています。12月には各神社から、笛や太鼓の音に合わせた神楽歌が聞こえ、郷は神仏に対し「畏敬の念」に包まれ、祭り一色に染まります。子どもたちは幼い頃から祭りに触れながら故郷の文化を受け継いでいきます。

○地域に根差した食文化を知り、「生きる力」を育みます。

- ・そば、いも田楽、こんにやくなど山国の食材を使った伝統食が豊富です。野菜や雑穀を無駄にせず上手に使う知恵等を学び、生きる力が育まれます。



和田保育園 自然や文化に親しみ、地域との関わりの中で育つ。「虫もお花もお友だち」

○地域の自然に関心を持ち、見たり触れたりする中で「たくさんの不思議」を経験します。

- ・保育園の庭にはいろいろな動植物がいます。登園するとすぐに捕虫網を持って虫探し。珍しい草や希少種の蝶もいます。畑では様々な作物が育ちます。子ども達は「たくさんのごちそう」と好奇心旺盛!命の大切さや不思議さを体験します。

○南信濃の伝統・民俗文化に親しみ、地域との温かな関わりの中で育ちます。

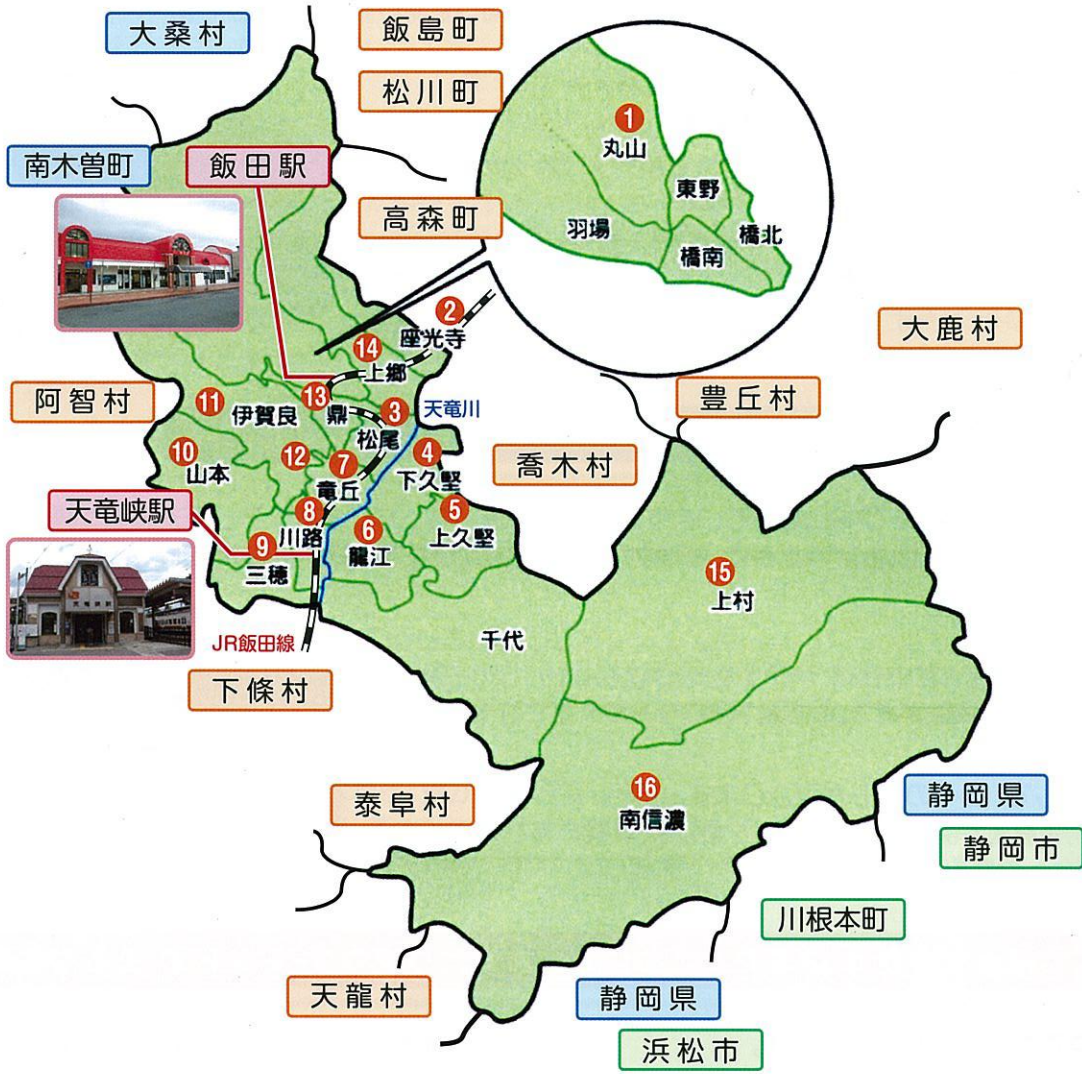
- ・御射山のお神輿のきおい・霜月祭の神社のお掃除、祭りの中には子ども達の役割があります。太鼓の音や神楽歌を感じ、地域の伝統を守っていきます。
- ・小中学校や上村保育園、お年寄りとの交流をし、豊かな心が育ちます。

○地域の食文化を知り、生きる力・食べる意欲を培います。

- ・遠山茶を使った茶豆やお茶蒸しパン、こんにやく、さんまご飯などの伝統食を味わいながら食べる事を楽しみ、健康に育ちます。



飯田市 公立保育園マップ



太陽光発電
おひさま
さんぽちゃん



信州型自然保育認定制度

信州やまほいく認定制度

豊かな自然と温かな地域の中で、子どもたちの“人生の根っこ”を育みます



信州やまほいく（信州型自然保育）認定園（H29年4月1日現在）

北信地域 28 園（公立 17 園、私立 11 園）

豊野さつき保育園、象山保育園、鬼無里保育園、とがくし保育園、長沼保育園、東条保育園、共和保育園、保科保育園、信州新町保育園、雷鳥保育園、円福幼稚園、★こどもの森幼稚園、南長野幼稚園、東長野幼稚園、和光幼稚園、若穂幼稚園、若草幼稚園（**長野市 17 園**）、豊丘保育園、須坂双葉幼稚園（**須坂市 2 園**）、中野中央幼稚園（**中野市 1 園**）
たかやま保育園（**高山村 1 園**）、野尻保育園、柏原保育園、富士里保育園、古間保育園（**信濃町 4 園**）
★幼児教室大地、りんごっ子保育園、南部保育園（**飯綱町 3 園**）

東信地域 33 園（公立 24 園、私立 9 園）

すがだいら保育園、上田女子短期大学附属幼稚園（**上田市 2 園**）、みすず幼稚園（**小諸市 1 園**）
青沼保育園、田口保育園、泉保育園、高瀬保育園、中佐都保育園、切原保育園、あさしな保育園、大沢保育園、東保育園、岩村田保育園、中込第二保育園、中込第一保育園、平根保育園、もちづき保育園、城山保育園、白田保育園、岸野保育園、佳里保育園、岩村田北保育園、小雀保育園（**佐久市 20 園**）、和保育園、祢津保育園、田中保育園、北御牧保育園、滋野保育園（**東御市 5 園**）、★森のようちえんびっぴ（**軽井沢町 1 園**）
栄保育園、海瀬保育園、八千穂保育園、★森のようちえんちいろば（**佐久穂町 4 園**）

中信地域 30 園（公立 25 園、私立 5 園）

※安曇野市の公立保育園は、H29.4.1付で認定こども園となりました。

安曇保育園、乗鞍保育園、奈川保育園、錦部保育園、双葉保育園、松本青い鳥幼稚園、松本光明幼稚園、★里山保育ひなたぼっこ（**松本市 8 園**）、わっこひろば宙（**大町市 1 園**）、片丘保育園、檜川保育園（**塩尻市 2 園**）
有明あおぞら保育園、明科北保育園、三郷南部保育園、南穂高保育園、有明の森保育園、三郷東部保育園、穂高保育園、明科南保育園、上川手保育園、たつみ保育園、北穂高保育園、豊科保育園、アルプス保育園、豊科南部保育園、三郷西部保育園、三郷北部保育園、西穂高保育園、堀金保育園、★響育の山里くじら雲（**安曇野市 19 園**）

南信地域 20 園（公立 13 園、私立 7 園）

★野あそび保育みつけ（**飯田市 1 園**）、高遠第2・第3保育園、天使幼稚園、★山の遊び舎はらぺこ、伊那緑ヶ丘幼稚園（**伊那市 4 園**）、飯坂保育園、北割保育園、すずらん保育園、美須津保育園、経塚保育園、中沢保育園、赤穂保育園、東伊那保育園、下平幼稚園、赤穂南幼稚園、桜ヶ丘保育園、福岡保育園（**駒ヶ根市 12 園**）
★野外保育森のいえ“ぼっち”（**富士見町 1 園**）、上古田保育園（**箕輪町 1 園**）、みなかた保育園（**中川村 1 園**）

保育所、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設、野外保育団体など、公立私立問わず、様々な団体が参加し学びあう、全国初の自然保育の認定制度です！

22 市町村に及ぶ
111 園を認定

各園の活動の詳細は、自然保育ポータルサイト「信州やまほいくの郷」をご覧ください。

信州の自然保育とは

「信州の豊かな自然環境と多様な地域資源を活用した、屋外を中心とする様々な体験活動を積極的に取り入れる保育・幼児教育」です。「子どもの育ち方は一人ひとり多様である」ことを大人が理解し、子どもが生来持っている「自ら学び成長しようとする力」が、自然や地域の中での体験活動を通じて十分に育まれることを大切にします。幼児期の子どもは、遊びを通じて人間関係なども学んでいきます。大人が干渉しすぎず、自然の中で思う存分に活動することで、子どもはたくましく成長できるでしょう。小学校以降も子どもたちの学びの原動力である「わくわくドキドキ」の感性が持続し、将来の自立した人生につながる「自己肯定感と自信」が育まれることを期待します。

長野県ならではの取組みに

長野県は全国4位の広大な県土を有し、その約8割が森林です。また、多様な地域性（村の数は日本一）や、全国最多の野外保育団体の存在など、子どもの豊かな体験活動に適した環境が整っています。そんな長野県が全国に先駆けて自然保育の普及に取り組むことで、信州の子育てや教育環境の素晴らしさと、各自然保育認定園の充実した保育・幼児教育に全国から高い関心が集まることを期待します。長野県では木育や食育、環境教育なども盛んですが、それらとも密接に連携しながら、長野県ならではの「信州学」の発展にも貢献します。

新しい子育てスタイルを県内外に発信

自然保育は、家族や地域住民とのつながりを大切にします。子育てはみんなで支えあい、大変さも楽しみも分けあうことが重要です。そんな思いが広がれば、子育てのストレスもきっと軽くなり「子どもが増えてもいいな」と思えるかもしれません。

美しい自然の中で子どもをのびのび育てたいと、首都圏からのアクセスも良い信州への移住を考える若い世代も年々増えています。幼児期に信州で過ごした子どもたちは、きっと心身共に健康となり「自分らしく生きていく力」を培うことができるでしょう。

子ども一人ひとりの特性やご家族の希望、また保育者の思いを最大限に尊重する信州の自然保育を県内外に強力に発信します！

“銀座 NAGANO”でも定期的に自然保育セミナーを開催！

子どもたちに多様で豊かな直接体験を

子どもの成長において「好奇心や創造力」、「自己肯定感や主体性」、「コミュニケーション力や共感性」、「忍耐力や自立心」、「健康な身体と体力」などが十分に育まれるためには、子どもの感覚が豊かに刺激される様々な事物と触れ合う「直接体験」がとても重要です。体験活動には、「自然体験」と、地域の伝統文化に関わる活動や農作業などの「生活体験」の両方が必要ですが、それらに基づく学びこそが、国が進める「アクティブ・ラーニング」や「生きる力の育成」にもつながると考えます。

自然保育を体験したい方はお気軽にお問合せください！

“人生の根っこ”は幼児期に育まれる

自己肯定感、創造力、レジリエンス（耐久力、回復力）、社会性、規範意識、意欲、主体性など「人間力の基本」となる能力を、ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマンは「非認知的スキル」と呼び、乳幼児期の早い段階から意識的に育むことが将来にわたって重要であると指摘しました。この「見えない能力」が“人生の根っこ”として伸びていかなければ学力等の「見える能力」も大きな花を咲かせ実をつけることは難しいでしょう。長野県は、自然保育に取り組む保育・幼児教育の実践者と連携しながら、子どもの幼児期の学びの質と環境の充実を追求します。

信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度が目指すもの

自然保育の理念と実践を多くの保育者や保護者、地域のみなさんと共有したい。そして子どもたちと一緒に様々な体験活動に取り組んでいただきたい。そんな願いを実現するため、自然保育の価値を県が率先して評価しようと制度を創設しました。制度を通じて自然保育の社会的認知や信頼性と質の向上を図り、県内の保育や幼児教育に携わる方々が積極的に自然保育に取り組んだり、保護者が安心して子どもを託すことができる自然保育環境の充実を目指します。

自然保育の学びあいや交流の場が県内各地に広がり、保育者、保護者、地域、市町村、県がそれぞれ主体的に関わりながら「子どものしあわせな未来」を一緒に創りあげていくことが、この制度が目指す姿です。

自然保育の認定園で働きたい方や自分で始めたい方も大募集中！！

豊かな自然環境と様々な地域資源（文化、伝統、人材等）に生まれ、たくさんの遊びと学びが保障される「しあわせな幼児期」を信州で体感しませんか！

認定区分と認定基準

（保護者と保育者が選べる2つの認定区分と自然保育の質を重視する24基準を設定）

特化型認定

質、量ともに自然保育に重点を置いて取り組んでいる活動

【特化型の主な認定基準】

- ★一週間で合計15時間以上、屋外を中心とした体験活動が行われている。
- ★通算2年以上の自然体験活動の指導経験がある常勤保育者が半数以上いる。
- ★安全管理の専門講習を受講した常勤保育者がいる。

普及型認定

他のプログラムと一緒に自然保育にも積極的に取り組んでいる活動

【普及型の主な認定基準】

- ★一週間で合計5時間以上、屋外を中心とした体験活動が行われている。

2つの区分に共通する主な認定基準

- ★屋外での子どもの自然体験活動が、毎月計画的に実施されている。
- ★屋外での子どもの自然体験活動に使用できる場所が園庭以外にあり、優先的に使用できる。
- ★自然体験活動に関する外部の研修会等に参加した常勤保育者がいる。
- ★対外的に自然体験活動に関する事例発表等を行った常勤保育者がいる。
- ★屋外での体験活動時には、安全管理に十分配慮した保育者の配置体制をとっている。

基準は、特化型が24項目、普及型が22項目あります。

認定の手続き（年1回）

（平成29年度の申請受付開始は5月半ばから、認定は10月頃を予定）

申請できる団体は

- ★認可保育所
- ★認可幼稚園
- ★認定こども園
- ★野外保育団体含む認可外保育施設等

申請者の法人格は問いません。

2つの認定区分から選んで申請を検討
運営形態や保育内容の違いに応じて

所定の申請書類を作成して知事に提出

申請受理した園の現地調査と審査

特化型又は普及型の認定証を交付

認定を受けた団体は

- ★県が主催する研修会や関連事業等に参加するよう努めてください。
- ★自然保育のPRにご協力ください。
- ★活動の記録と公開に努め保育の「見える化」にご協力ください。
- ★活動報告書を毎年度末に提出してください。
- ★5年ごと認定の更新が必要です。（希望団体のみ）

H31年度迄に230園以上の認定を目指します！！

よくあるご質問にお答えします。

Q1 自然保育の安全管理は大丈夫ですか？

認定基準には各園の保育者が安全管理に十分配慮することが明記されており、県主催による安全管理の研修等も定期的で開催しています。自然保育は屋外で過ごす時間が長いので、服が汚れたり小さなけがをすることもありますが、安全管理を徹底した上で、冒険したいと思う子どもの主体性や、子ども自身が自分の安全を守ることを学ぶチャンスも大切にしたいと考えます。

Q2 外で遊んでばかりでは、小学校の学習についていけないのではないですか？

幼児期から学童期にかけて「学びの自立」、「生活の自立」、「精神の自立」の3つの自立を養うことが重要だと言われていますが、そのためには、子どもが幼児期からたくさんの遊びを通して様々な体験を重ね、自らの興味関心を高めることと、達成感や他者への信頼感といった感情面を十分に育むことが大切であり、それが小学校での学習能力や表現力を高める基礎になると考えます。

Q3 自然保育や認定制度についての説明会はありますか？

市町村担当者、認定申請をご検討の園の関係者、保護者や地域住民のみなさまなどを対象とする説明会を、必要に応じて開催いたします。また個別お問合せにもお答えしますので、お気軽にご連絡ください。



Q4 市町村や複数の園（団体）を持つ法人はどのように申請すればいいですか？

自然保育の活動内容に対する認定ですので、申請は園（団体）ごとに行ってください。公立園を設置する市町村や複数の園を運営する法人においては、園（団体）ごとの申請書類の作成が必要です。

Q5 屋外活動の時間が規定されると他の行事や活動と両立が難しいのでは？

普及型は「3歳以上の子どもの屋外での体験活動が、一週間で合計5時間以上」、特化型は「屋外での体験活動が、一週間で合計15時間以上」という基準を設けていますが、一週間で5時間又は15時間以上なので日によるばらつきは許容します。「できるだけ意識的に、かつ継続して屋外での体験活動を行ってほしい」というのが時間基準の意図であることをご理解ください。時間基準は自然保育の取組を客観的に評価する一つの尺度ですが、大切なのは保育の内容とその質の高さであると考えますので、各園の実情にあわせた創意工夫を期待します。

Q6 認定を受けた園（団体）にはどのようなメリットがありますか？

自然保育の質の向上を目的に県が開催する各種研修会や交流会に参加したり、自然体験や安全管理の専門指導者を派遣してもらうことも可能です。自然保育ポータルサイト「信州やまほいくの郷」に開設されている各園のページではそれぞれの活動内容をアピールできますし、県も各園の名称や活動内容を県内外に積極的に広報いたします。H29年度には公的支援を受けていない団体への助成制度を新設するなど、様々な支援によって、各園の園児や保育者の募集、市町村においては移住促進や地域活性等にも成果が期待できると考えています。

保育と幼児教育の多様性を尊重し、子どもがまんなかの“子育て先進県”を目指します！



いま、日本の子どもの自己肯定感の低さや孤立感の広がりには深刻な状況になりつつあり、長野県の子どもたちも例外ではありません。子どもの自己肯定感の向上には、子ども一人ひとりの多

個性や能力に応じた「出番と居場所」、そして「その子に合った育ち方の保障」がとても重要です。自然の懐は広く深く、子どもも大人も受容し心身の解放を促してくれます。全国有数の豊かな自然を誇る信州だからこそ、もっと自然を身近に感じ、地域の中で様々な体験ができる環境を大切にしたいと考えます。幼児期の豊かな体験が子どもの育ちをしっかりと支える“人生の根っこ”となり、どの子どもも「しあわせ」が実感できる“子育て先進県”の実現を目指します。

自然保育ポータルサイトは「**信州やまほいくの郷**」で検索！
(www.shizenhoiku.jp)

自然保育の様々な事例やイメージ動画を観ることができます。
自然保育認定園を地域や活動内容等で検索することができます。

自然保育のお問合せは、長野県県民文化部長次世代サポート課まで

〒380-8570 長野県大字南長野字幅下692-2

TEL: 026-235-7210 (直通) FAX: 026-235-7087

E-mail: jisedai@pref.nagano.lg.jp



しあわせ信州

これは、信州やまほいく（信州型自然保育）普及のためのリーフレットです。（平成29年3月発行）